

# 目次

2019年10月5・15日合併号

## グローバル企業のグルーピングガバナンス — 企業価値の向上に向けて —

早稲田大学教授 宮 島 英 昭

(6)

### 特集

## 国際会社法 — 株主代表訴訟における展開と課題

本特集にあたって — 国際会社法の現代的課題と本特集の趣旨 —

東京大学教授 原 田 央

(30)

## I Un-Commonwealthの顕現

— 株主代表訴訟法制の立法過程からみたコモンウェルス諸法域における会社法の多岐的發展 —

シンガポール国立大学法学部助教 サマント・タン  
(訳：原田 央)

(34)

## II 株主代表訴訟に関する国際私法上の諸問題

— 国際会社法基礎理論再検討の準備作業を兼ねて —

東京大学教授 原 田 央  
シンガポール国立大学法学部助教 サマント・タン

(46)

## III 多重代表訴訟に関する国際私法上の諸問題

— 国際会社法基礎理論再検討の準備作業を兼ねて —

東京大学教授 原 田 央

(60)

## ■二〇一九年総会動向と来年展望(2) 役員報酬議案をめぐる二〇一九年総会動向

— 株式会社報酬を中心として —  
みずほ信託銀行 株式戦略コンサルティング部調査役・弁護士 磯 野 真 宇

(72)

## 「公正なM&Aの在り方に関する指針」の意義と実務への影響

弁護士 石 綿 学 弁護士 内 田 修 平

(85)

## 英国企業の取締役会およびトップマネジメントチームにおける多様性戦略

— 日本企業のコーポレートガバナンス改革への示唆 —

早稲田大学教授 久 保 克 行  
三菱UFJ信託銀行 HR戦略コンサルティング部プリンシパル 内 ヶ 崎 茂  
三菱UFJ信託銀行 HR戦略コンサルティング部チームリーダー 鈴 木 啓 介  
三菱UFJトラスト投資工学研究所 上席研究員 山 内 浩 進  
三菱UFJトラスト投資工学研究所 主任研究員 瀬 古 進

(92)

## 近時の株主優待制度の変化と問題

ストラテジックキャピタル代表取締役 丸 松 理 強  
ストラテジックキャピタルチーフアナリスト 松 橋 木

(102)

## ■実務問答会社法 第三六回 ■実務問答金商法 第一一回

■実務問答会社法 第三六回  
■実務問答金商法 第一一回  
定款の定めに基づく株主総会の決議による代表取締役の選定 京都大学特定助教 鄭 燦 玉  
有価証券の引受けの範囲 弁護士 大 越 有 人

(116)

■デラウェア会社判例理解のための手続法的基礎 ●  
第四回 保全段階(2) 例解 神戸大学准教授 板 持 研 吾

(129)

●海外情報 ● 中国における司法のIT化 — インターネット裁判所 —

(132)

●二〇一九年総会動向と来年展望(2)  
SSCコードに関する有識者検討会の令和元年度第一回会議が開催される

(132)



